

明るく元気の出る町

平成11年1月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1999

NO.526

あけましておめでとございます



(ロマン賞) 「一寸ぼうし」 小松佳広くん



(メルヘン賞) 「しょうぼうじどうしゃじぶた」 篠田日向くん



(ファンタジー賞) 「しょうぼうじどうしゃじぶた」 嶽石智大くん

高橋宏幸賞・感想画
の部受賞作品



(メルヘン賞) 「よだかの星」 梅津芳史くん



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

最年少と最年長の卯年の皆さん



阿部幸悦町長 新春の御挨拶

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は歴史にも残るであろ
う激動の年でした。

まず異常天候でした。春先
の異常高温に始まり梅雨明け
宣言のない夏、今世紀最悪と
いう八月の日照不足、局地的
ではありましたが大雨の被害
など大変なことでした。こう
いう天候や、二八・九%もの
減反率にも心配したのですが、
わが町の農家の皆さんのがん
ばりによって、稲作はまずま
ずの作柄ということではほと
したところであります。しか
し一等米比率は八七%ほどで
近來にない低さとなりました。
また、不景気という言葉に
振り回された年でありました。

橋本政権が七月の参議院選
挙で退陣、小渕政権に代わら
れてから、景気の回復のため
なら何でもやるということで、
金融システムの安定化、積極
的な公共投資、地域振興券の
発行を決めるなど懸命な努力
をしたことでした。

まだ大きな効果のほどは見
えてきませんが確実に回復基
調にあるということ。い
ろいろな意味でぜひそうあつ
てほしいと祈念したところで
あります。

町では山紫水明の里の基本
になるものと下水道事業に取
り組んで参りましたが、七月
には通水式をすることができ
ました。きれいにするという
ことは本当にお金のかかるこ

とです。しかし私たちの子孫
に、より良い環境を残して行
くためには、今出来ることを
頑張つてやっていかなければ
なりません。その出発ができ
たことです。

分譲宅地も完成していろい
ろな意味での備えも出来たこ
とです。携帯電話の無線基地
局もでき国道沿線では通話が
可能になりました。

遅ればせながらではありま
すがひとつひとつ課題が解決
された年になりました。

「八塩いこいの森の桜」も日
本桜の会から町が功労者表彰
を受けましたが、この時に副
賞としていただいた五百本の
黄桜をふくむ桜の苗木を、今
春五月十三日の県植樹祭で、
知事さんをはじめ全県からお
集まりの皆さんに植えてもら
います。秋田県の「八塩いこ
いの森」にするべく一年がは
じまりました。

今年も皆さんにとって健康
でよりよい年になりますよう、
心から祈念して新年のあいさ
つといたします。

今年は卯年

町の卯年生まれば
四百二十九人

(12月3日現在)

明治三六年 男三人、合計三人
大正四年 男九人、女二十二
合計三十一人
昭和二年 男四十九人、女五十八
人、合計百七人
昭和十四年 男二十九人、女四十
六人、合計七十五人
昭和十六年 男四十七人、女三十
人、合計七十七人
昭和三八年 男二十七人、女十四
人、合計四十一人
昭和五〇年 男三十人、女十七人、
合計四十七人
昭和六二年 男二十二、女二十
六人、合計四十八人
合計 男二百十六人、女二百
十三人、合計四百二十九人

表紙で協力していただいた皆さん

■明治三六年生まれ

伊東潔さん(岩館) 福田末造さん

(下通)

■昭和六二年生まれ

八塩小・渡辺侑宏くん(向田)、

大場望さん(久保)

高瀬小・遠藤翔くん(十二ノ前、

遠藤綾さん(野田)

大琴小・石綿伸太郎くん(大台、

長谷山真央さん(船木)

平成11年もよりよい年に

平成10年を ふりかえって

様々な出来事があった 一年でした

一月

一月五日～九日 新春町政座談会
「町内七分館で活発な意見が」

六日 消防出初式「消防関係者三百人が無火災祈る」

十四～二十一日 葉たばこ収納
(増田町)

二月

十日 秋田東由利町を語る会発足
(秋田市)「町応援団として活動を」

七日～八日 第十四回大平雪まつり「約二千六百人が雪に親しむ」

十五日 町民スポーツ祭綱引競技
二十二日 県選抜雪上野球大会
「ズームイン朝!で紹介される」

三月

一日 やしお元氣まつり

四日 スポーツ栄誉賞・芸術文化
奨励賞表彰式「スポーツ栄誉賞で
十三個人、文化奨励賞で三個人など
が表彰を受ける」

三月五日～十九日 第一回議会定
例会「一般会計歳入歳出それぞ
れの当初予算は四十億八千八百万
円。特別会計は二十六億三千万円」

四月

三日 さくら功労者表彰(東京都)
「桜普及、保護研究に功績があった
団体として町が表彰を受ける」

二十一日 農業委員一般選挙「無
投票で新人三人を含む十人が農業委
員に」

二十四日 自治会長会議「六十二
自治会長との意見交換行われる」

二十五日 荻沢地区圃場整備事業
起工式「三年間に渡る工事始まる」

三十日 第二回議会臨時会

五月

九日～十日 黄桜まつり

「黄桜は連休中に満開。まつり両日
には盛りを過ぎたものの、観桜会を
通じ五万三千人が訪れた」

二十二日 第三回議会臨時会
二十四日 東京東由利会総会

六月

四日 大きなぶりまつり「六百人
余りが秋の豊作を祈願」

七日 大台地区座談会
十六日～十八日 第四回議会定例
会

十九日 敬老会、七十歳を祝う会
「敬老会対象者を七十三歳まで引き
上げ。招待者八百七十三名中、三百
六十六名が元氣に出席」

二十一日 町民スポーツ祭・トラ
ック&フィールド競技

二十五日 死亡事故ゼロ千日達成
二十六日 自治会長研修「町の今
の姿を再認識するため町内研修に」

二十七日 第四十三回畜産共進会
「自慢の東由利牛七十七頭が出陳」
三十日 第五回議会臨時会

七月

三日 下水道供用開始「老方地区
(一部)で汚水処理が可能に」

十日 八塩地区整備事業起工式
「森林レクリエーション、教育文化
活動の拠点にするため整備を行う」

十二日 第十八回参議院議員通常
選挙「投票率は七二・一四%」

十五日 手づくり郷土賞受賞(仙
台市)「陸の灯台黄桜の里が表彰を
受ける」

十七日 大琴分譲宅地名決定
「サンガーデン大琴と命名」

「サンガーデン大琴と命名」

十七日 第一回秋田しんせい農業
協同組合畜産共進会

十七日 携帯電話用無線基地局が
完成「町で携帯電話が使用可能に」

十九日 消防訓練大会「総合の部
で第一分団が二年連続優勝」

二十三日 第六回議会臨時会
二十七日 町民プール地鎮祭「完
成予定は平成十一年度」

八月

五日 第七回議会臨時会
十五日 成人式「対象者七十七
人中、七十人が出席」

十五日～十六日 社会人野球記念
大会「四十回目を記念する大会」

二十日 ふるさと創造語る会発足
「町長との率直な意見が交換された」

二十一日 戦没者追悼式「三百十
二柱の御霊に祈りを捧げた」

二十三日 町民スポーツ祭・ゲー
トボール競技

九月

九日～二十二日 第八回議会定例
会「九年度決算認定 歳入総額四
十八億一千四百三十九万九千円 歳
出総額四十六億六千六百七十七万
円」

十一日 合同金婚式「対象夫婦四
十五組中、三十四組出席」

十二日 本荘高校下郷分校創立五
十周年記念式典「関係者二百余名
が同校半世紀の歴史を祝った」

十七日 第二十二回野焼きを楽し
む集い「百二十余名が作品づくり」

十八日 新町自治会町づくりフォ
ーラム開催

十九日～二十日 全日本ゲートボ
ール選手権大会(秋田市)「県の
代表として本町チームが出場した」

十月

十八日 町民スポーツ祭・ペタ
ンク競技

十八日 第十三回東光苑文化祭
十八日 第五回本荘東由利会総
会(本荘市)

二十三日 第九回議会臨時会
二十五日 第六回東由利音楽祭

「町内外から八百余名が参加、音楽
に親しんだ」

三十日 第二回ふるさと創造語
る会「会員が八塩登山を行った」

三十一日～十一月一日 秋まつ
り一九九八「産業文化祭から名称
変更。八千人が訪れた」

十一月

五日 町功労者表彰式「石渡力
造氏、畑山昭一氏が町功労者に。
今回よりまちづくり奨励賞が新設
された」

七日 スキークラブ設立三十周
年記念式典

八日 農業者大会「東由利農業の
未来を語り合った」

十三日 痴呆・ねたきり予防地
区集会十福祉と健康のつどい

十六日 除雪連絡会議
二十日～二十六日 合同海外研
修「大内町、南外村との合同でオ
ーストラリアへ」

十二月

十五日～十八日 第十回議会定
例会

二十日 第七回高橋宏幸賞童話
秋田県コンクール表彰式「県内
から三千七百五十四点もの応募が
あった」

二十一日 大平スキー場開き

未来に夢をのせ サンガーデン大琴分譲開始



第10回 議会定例会

第十回議会定例会は十二月十五日に招集され、会期を十二月十五日から十八日までの四日間としました。

初日、十五日は阿部幸悦町長の行政報告、三議員による一般質問の後、工事請負変更契約の締結による専決処分など九件を報告、請願・陳情・要望など十四件、平成十年度東由利町一般会計補正予算を上程、散会しました。十六日からは各常任委員会の審議が行われ、最終日の十八日に東由利町町税条例の一部を改正する条例など十議案を原案通り可決、付託陳情に対する各委員会の報告後、閉会しました。

町長行政報告

(一部抜粋)

介護保険、地方分権など
北欧先進五カ国に学ぶ

九月二十六日から十月六日までの十一日間にわたり、秋田県町村会主催の町村長海外視察団一行十一人の一員として、介護保険や地方分権などの先進地とされるドイツ、ベルギー、オランダ、デンマーク、ノルウェーの北欧五カ国の視察に参加させていただきました。

介護保険も地方分権もそれぞれの国の歴史や国状が背景にあり、高福祉高負担の考え

方が底流にありましたが、大変わ得るところの大きい視察であつたと考えております。

サンガーデン大琴
十一月より分譲はじまる

五月二十五日に発注しました分譲宅地整備事業は天候に恵まれ、順調に工事が進捗、完成期限までに完成しました。

十一月二十四日から三十日まで第一回の購入申し込みの受付をしたところ、二件の申し込みがありました。

今後は、随時に申し込みを受付して処理していくこととなります。

貸し渋り対策として
町マル由資金の各条件緩和

中小企業振興資金としてのマル由資金の貸付枠と償還期間の緩和を十二月一日より実施しております。

貸付枠を五百万円から七百万円に引き上げ、償還期間を五年から七年以内に延ばしております。

景気回復、地域活性化
のため地域振興券を交付

市町村が事業主体となって実施する地域振興券交付事業が平成十一年一月一日を基準日として実施されることが、臨時国会で決まりました。

十五歳以下の児童と六十五歳以上の低所得者等に対し、一人二万円の地域振興券を交付、個人消費をうながし、地域経済の活性化を図り、地域の振興に資することを目的とするものであります。

畑作物の販売状況 作物ごとに温度差

十二月三日現在、米の集荷状況は集荷数十二万七千五百七十四袋で一等米比率は八七・三パーセントです。

畑作、主な作物の販売状況は、春先などの天候不順と長雨の影響で、路地物（サヤエンドウ・馬鈴薯など）の販売数量の落ち込みが激しかった中、ミニトマトはハウス施設の整備などにより健闘。バラは出荷数量・金額とも大幅に増加しています。

山振事業の一部に ウルグアイ・ラウンド補正

山村振興農林業特別対策事業の計画変更は、県が農政局と協議を実施しており、一部はウルグアイ・ラウンド補正がつく見込みとなっています。

農地農業用施設災害復旧事業は、河川関連の一箇所を除き発注を完了しています。

国・県・町建設関連事業は 順調に工事が進捗

国道特殊改良一種工事一〇七号工区は、トンネル一七八メートルが着工、平成十一年

度の完成を目指しています。また、雪寒道路事業として両善寺、八日町間に、防雪柵四〇〇メートルが発注されました。

神岡南外東由利線の岩館バイパス工事は、用地測量を実施し、面積、買収単価等提示の準備を進めているとのことであります。

横手東由利線、笹倉トンネルの改修も全長一九六メートルのうち、平成九年度に七四メートル実施し、平成十年度は残る一二二メートルの全面改修が完了する予定です。

基盤整備促進事業（農道整備）は改良継続事業計画として、小田地区橋梁上部工、新処地区、明通地区、アクト二期地区を実施しているところであります。

県営ふるさと林道緊急整備事業三ツ森山線は平成十年度新設整備が完了しております。本年度、新設整備した分は、平成十年度に舗装を行い、本町分は全線開通予定であります。雄物川町分については、現場が急峻などで難工事となっており、今後二年から三年位かかるとされております。

ふるさと林道緊急整備事業石塚線は平成十年度開設分として、四〇〇メートル、幅員四メートルを十一月十六日発注し、事業を実施しているところであります。

林業地域総合整備事業についてはトイレ工事一棟が十一月に完了しました。

農業集落排水整備事業関係は、現在二六五公共枿の同意に対し、加入者は六〇公共枿で加入率は二二・六パーセントであります。今後さらに加入率が上がるよう努力して参ります。

石高川河川災害は、建設省協議を終え、十二月八日に査定を受けたところであります。査定率は九九・三パーセントであります。

町民の声で チャイム時刻が変更

十一月一日から町民の要望により、夜九時のチャイムの吹鳴の一時休止と午前十一時三十分の時報を正午に変更して試行しています。

今のところ苦情もないので、引き続き三月末まで試行し、問題がなければそのまま継続

していきたいと思います。

介護保険事業の 準備運動終わる

介護保険事業の準備運動として高齢者介護サービス体制整備事業が九月三十日から始まり、十一月三十日で終了しております。

この事業では、認定申請にかかわる対象者の抽出、訪問調査、コンピュータによる一次判定、そして医師からの意見書を加えての、二次判定となる介護認定審査会など、介護保険事業が始まった場合の一連の業務を一通り行ったものです。

介護保険事業で 事務の広域化を検討中

介護保険の認定申請受付が平成十一年十月から始まり、介護保険事業に係る事務量が膨大となることから、広域情報処理センターを利用しての事務効率化、そのためのコンピュータソフト開発、介護認定審査会における人材確保、審査会の公平・公正を期するための審査会など本荘市・由利郡での広域化を検討中です。

特別減税で 五百一件の福祉給付金支給

平成十年度所得税の特別減税に関連し、臨時福祉特別給付金を支給しました。支給件数が五百一件、金額は六百五十九万円となっております。

黒診施設 三月で永年の役割終える

黒測診療所は昭和三十七年七月一日の開所で、地域住民から永年利用されてまいりましたが、町としては平成十一年三月三十一日をもって閉鎖したい旨、地元代表者との会で話しをしました。

地元からは、診療所がなくならないことは寂しいことであるが、現状を考えるならばやむをえないのではないかと。というご意見をいただきました。

寄宿舎入舎者 昨年より十一名増える

中学校寄宿舎は、十一月四日に開設し、三月十九日まで予定。入舎状況は一年生七名、二年生十名、三年生八名、計二十五名で、前年度より十一名増となっております。

一般質問

(一部抜粋)

梅津栄一議員

○道路改良等による代替地の所有権移転は速やかに行うべき

●地籍調査がよい機会であり、所有権等確認しながら整理したい。

○来年供用開始の町民プール運営について指導員の養成、講習会などで町民の利用拡大を

●幅広く検討しながら、様々な方法で施設運営を図りたい。

○携帯電話の難聴地区について解消の考えは

●まずは国道沿線の整備を検討していきたい。沢々については時間がかかるのではないか。

○任期満了前に町長として町政運営の基本的姿勢を

●まだ八カ月の期間がある。まずは任期中の仕事に鋭意取り組みたい。

小松義嗣議員

○個別処理区の合併浄化槽による整備の考えは。また個人の下水道施設整備に支援を

●積極的な整備をはかっていきたい。個々支援については考えていない。

○学校林などの現状と対応は。また、玉米財産区廃止にともなう対応は

●地域の方々と今後の運営のための協議をしたい。玉米財産区については、同財産区の皆さんにとってよりよい方向でと考える。

○両前寺線を黄桜通りに。また同線延長整備の考えは

●名称などは検討をしていきたい。街路樹については年間を通じて楽しめるものという思いがある。路線延長について、今は考えていない。

○十一年度は役場庁舎建設を考える年に

●庁舎については古さとはなく、広さや電気容量等が限界。将来の町村合併な

どを視野に入れながら整備計画を考えていかなければならない時期と思う。

○葉タバコ支援の継続を

●見直しは継続が、効果を確かめつつ、意見を聞きながら考えたい。

○私道除雪、除雪機購入に助成の考えは

●道路除雪については完璧を期している。除雪機に助成は考えていないが、葉タバコ、牛など出荷時の除雪についてはその都度対応している。

小野健議員

○政府はコメの完全自由化を年内に決めようとしているが、町長の考えは

●唐突という印象があるが、積極的な姿勢であるという評価もある。世界全体の流れからして、関税化はやむを得ないのではないか。

○経営が破綻した秋田県畜産開発公社に県費投入。出資市町村の立場から考えを

●解体という意見もあるが、破綻問題と公社廃止は別問題であり分けて考えるべき。畜産振興の立場からも公社は継続していくべき。

○木材産業の不況が続く。伝統ある地域産業の振興のために木材加工所整備や公

共施設で木材の利用推進を

●加工所など一つの産業にまで作り上げるには並大抵の努力ではできない。将来の林業振興につながる施策を考えていきたい。



▲舗装工事が完成した両前寺線

議決報告

■議案第三号 大平スキー場設置条例の一部を改正する条例
貸スキー等の賃貸料金の変更。

■議案第四号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に基づき一般職の給与等を改正するもの。

■議案第五号 平成十年度東由利町一般会計補正予算
一億三千九百二十六万六千円の追加で、歳入歳出それぞれの総額は四十六億六千四百四十三万八千円。主なものは土木施設災害復旧費九千六百万六千円など。

■議案第六号 平成十年度東由利町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
百六十三万九千円の追加で、歳入歳出それぞれの総額は四億七千五百九十四万一千円。

■議案第七号 平成十年度東由利町老人保健医療事業特別会計補正予算
四百九十八万一千円の追加で、歳入歳出それぞれの総額は七億三千二百三十四万二千円。

(一部抜粋)

困りごとと悩みごとはお気軽に

十二月八日、有鄰館において、東由利町民生委員・児童委員委嘱辞令伝達式が行われ、十人の新委員を含め、二十五人の委員に阿部幸悦町長、由利福祉事務所長より辞令が伝達されました。

なお、任期は十年十二月一日から十三年十一月三十日までの三年間です。

民生児童委員は地域において、高齢者・障害者などの要援護者への世話活動などを通じて、地域における福祉の充実に協力していくもの。

辞令を伝達された委員は、改めて気を引き締めていました。



▲辞令伝達式では一人ひとりに辞令が

町民生委員 児童委員 委嘱辞令 伝達式

新役員

- ◎総務…渡辺秋雄氏
- 副総務…遠藤眞吉氏
- 副総務…畑山裕子氏



小松惣一氏
(向田)
担当自治会
(智者鶴、向田、泡ノ沢)



畠山清子氏
(地下ノ沢)
担当自治会
(黒淵、葎沢、地下ノ沢)



渡辺秋雄氏
(田代)
担当自治会
(田代、石高、時雨山)



畠山清氏
(袖山)
担当自治会
(袖山、大吹川、須郷)



小野忠氏
(下小屋)
担当自治会
(下小屋、高戸屋、須郷田、)



畑山裕子氏
(下小路)
担当自治会
(下小路、館合新田)



佐藤千鶴子氏
(館西)
担当自治会
(館西、宇戸坂、八日町)



高橋時郎氏
(久保)
担当自治会
(五海保、久保、家ノ下)



小松良一氏
(山崎)
担当自治会
(山崎、松柴、板戸)



佐藤守氏
(祝沢)
担当自治会
(祝沢、茂沢)



小松稔穂氏
(湯出野)
担当自治会
(湯出野、寺田)



畠山龍子氏
(中通)
担当自治会
(上通、中通、下通)



小松丈介氏
(横小路)
担当自治会
(横小路、新町)



千葉安子氏
(新町)
担当自治会
(島、宮ノ前、上里)



石渡力造氏
(蔵新田)
担当自治会
(蔵新田、蔵)



阿部タツ子氏
(岩館)
担当自治会
(岩館、横渡)



遠藤眞吉氏
(新処)
担当自治会
(新処、野田、十二ノ前)



遠藤正明氏
(小倉)
担当自治会
(桂台、小倉、中ノ沢、高村)



千葉康平氏
(黒沢)
担当自治会
(黒沢、大台)



大日向イサ氏
(大琴)
担当自治会
(大琴)



小野清幸氏
(宿)
担当自治会
(宿、下吹)



小野ミヨシ氏
(高屋)
担当自治会
(土場沢、高屋、沼)



小松篤氏
(畑村)
担当自治会
(船木、畑村、杉森、奥ヶ沢)



主任児童委員
青木榮子氏
(田代)
担当
(町内全域)



主任児童委員
八嶋シゲ氏
(上通)
担当
(町内全域)

大人になったら「キッチン」と納税

このほど行われた平成十年度「税についての作文」コンクールで、東由利中学校三年佐藤千草さんが本荘市由利地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。

この作文コンクールは中学生が日頃税について感じている率直な気持ちを作文にと毎年行われているもの。今回、郡市内の十校から八百九十八点の応募がありました。入賞者の佐藤千草さんの作文を紹介します。(一部抜粋)



東中三年 佐藤千草さん

税金と社会と 私達のつながり

私は「税金」というものは、世の中になくてはならないとても重要なものだと思います。なぜなら、私達の生活は「税金」がなければ成り立たないからです。

例えば、私達が通っている学校。これは、ほとんどが税金によってまかなわれています。もし税金がなくなってしまうと、学校に通えなくなるでしょう。それから、私達が病気になった時も税金は重要なものとなります。入院したけれどお金が足りない、という時に助けてくれます。

他にもたくさん「税金」は使われている、私達の生活のありとあらゆる事に役立っています。

それでは、せっかくの税金が無駄に使われているということはないでしょうか。これまでも書いたように、税金は様々な所に使われています。だから、かえって税金を無駄使いにしている所があると思います。

一番身近な例でいくと、学校のトイレトペーパーや紙類です。こういうものはよく無駄に使われます。これは、税金に限られたことでなく、環境にも関わりがあるのでよく考えてほしいです。それから、大規模な例でいくと、何億円ものお金をつぎこんで作ったのに全く使用されることのない施設があります。

このように、小さなことから大きなことまで税金は無駄に使われています。しかし、自分で努力して無駄を減らすことはできるはずです。大きなことまでは無理かもしれないけれど、で

本荘市由利地区納税貯蓄組合 連合会長賞

●電気火災の原因と注意事項●

火災の原因は、放火・失火・自然発火の三つに大別され、失火の原因となるものは多種多様です。失火の主たる物には炊飯中の火、タバコの火、風呂の火、煙突の火、石油ストーブの火、電気器具等からの火があります。年末年始は油断から失火が起りやすいもの。

- (1) 配線や電気器具のコード等は圧迫、ねじれ、金属等の接触によってコードの被膜が劣化し、この箇所から出火することがある。
- (2) 接続端子の締め付け不良、プラグ等の差し込みの緩みがあると、電流の抵抗が大きくなり、熱を持ち火災になることがある。
- (3) 石油ストーブについては点検を怠ると不完全燃焼、異常燃焼により火災になる恐れがある。
- (4) 電気製品で長時間使用しなかったものや、使用期間が長くなったものは要注意。
- (5) 電気製品を素人が修理することは危険。自己流修理はしない。

火災は必ずといってよいほど前兆があるので、おかしいと思ったらこれを見逃すことなく点検を。

林業だより

林業振興への道

今日の林業の不振は、木材価格の低迷にあります。素材で原木市場を通して販売しても、伐採搬出経費や販売手数料を差し引くと手元にはほとんど残らないか、赤字になります。

いくら間伐補助金を受けても山林に対する再投資を難しくしており、森林所有者の林業離れを促進しています。

この林業をめぐる厳しい現実に立って、いかに再建していったらよいでしょうか。

一つには、二〇パーセント

十二月家畜市場

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	47	291kg	462,469	1,518
雌	34	271kg	321,671	1,125
合計	81	283kg	403,369	1,353

●最高金額 去勢 646,800 北国7の8 紋次郎 第7糸桜
●最高金額 雌 477,750 美津福 宮桜 栃錦

まで低下した木材自給率を高めていくことです。国産材による住宅建築の促進と間伐材の総合利用開発です。(良質乾燥材、集成材、合成木材など) 二つには、採算のとれる林業の推進です。伐採搬出コストを下げる国庫補助による林道の整備や素材を高く買ってくれる製材工場等の再構築、原木市場の改革です。

(町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏)



▲佐々木講師による講話

十二月三日、有鄰館で道の駅、黄桜の里ステップアップ研究会が開かれ、マーケティングプランナー佐々木芳明氏を講師に迎え関係者十余名が勉強会を行いました。これは(財)地域活性化センター地域づくりアドバイザー事業により行われたもの。会では以前実施されたアンケートを佐々木講師が分析、道の駅の現状と課題、その解決策、また「道の駅空きスペースの有効利用」、「道の駅各施設が協賛したイベント」などのアイデアが提案されていました。

道の駅勉強会

各組織が協力してイベントを



▲関係者は安全を祈願しあった

十二月三十一日、大平スキー場開きが行われ、関係者五十余名が期間中の無事故を祈願しました。また、阿部幸悦町長が「一〇七号沿いファミリーゲレンデとしての利用を大いに期待したい」とあいさつしました。今シーズンの特別企画として当日リフト券三枚以上でファミリーお食事割引き、六十歳以上の方のリフト料金が子供料金、リフト券でお楽しみ抽選などが実施されます。なお正月期間も無休です。お問い合わせは大平ヒュッテまで(六九)三三三八

大平スキー場開き

シーズン中の無事故を祈願



▲後援会員の前で熱唱する竹美さん

八月七日に発足した浅野竹美後援会。この会は竹美さんの活動を支援すべく町内有志らによって発足した会です。十一月二十九日には後援会として初めての発表会が有鄰館で行われ、後援会員など二百余名が出席、竹美さんを応援してという誓いがありました。当日の発表会では、本荘追分など竹美さんの唄に会員は充分堪能していました。また抽選会や、特別出演の町民謡同好会が唄を披露、発表会に花をそえました。後援会についてお問い合わせは(六九)二二〇八まで。

浅野竹美後援会発表会

後援会発足後 初の発表会



▲喜びの佐藤ナツエさん

十月三十一日から十一月三日に本荘市で行われた第二十九回全国ごてんまりコンクールで佐藤ナツエさん(祝・七十二歳)の「ごてんまり」(きく)が最優秀賞である中小企業庁長官賞を受賞しました。コンクールには、県内外二十府県二百十九名から、三百八十二点もの出品がありました。作品は「伝統的なかり方だが色彩も変わっており、大変工夫が見られる」と審査員の評価も上々。佐藤さんは「大変光栄です」と表彰の喜びを話していました。

全国ごてんまりコンクール

ごてんまりで全国一の表彰

結成10周年を迎えた宿小会

在京宿小会総会

平成元年に旧宿小学校OBが中心になり発足した在京宿小会。今年で十年をむかえるということで、十一月二十三日に「十周年記念の集い」が東京・王子北トピアにおいて行われました。



当日は一都八県から百二十余名の会員が集まり、久しぶりの再会を喜び合いました。また秋田魁新報の取材もありました。

獅子舞で会場と会員を清めた後、小笠原精治会長がこの十年間の役員、参加者などの支えに感謝しながら「この場を年一回、旧宿小学校出身会員の情報交換と交流の場としたい。同時に東田利町の発展を祈る会にしたい」とあいさつ。

引き続き、大琴出身佐々木義勝氏が、会の結成当時から今に至るまでの苦労話を中心に「十年間にわたる会員の皆さんの支援に感謝する」と会の諸業務から引退するにあたり、十年間の活動について回想していました。

その後、阿部幸悦町長、梅津潤二参加者代表あいさ



▲獅子舞で会場と会員を清めた

つその後、高屋出身佐藤忠一郎さんの乾杯により、懇親会が行われました。会では久しぶりの友の動向、ふるさと談義に花を咲かせていました。

アトラクションでは、男鹿出身、テイチクレコード民謡歌手の岩壁龍風さんの唄と尺八、小熊晴鹿さんの踊りと三味線、畑村出身小松弘さんの唄と尺八、法内出身阿部洋二さんの安来節などが披露されました。後半は会員の民謡、踊り、カラオケなども飛び出し、会の盛り上がりは最後まで続きました。

閉会では大琴出身の佐々木安造氏が「お互い元気で来年も再会しましょう」とのあいさつ。参加者の皆さんは来年の再会を約束しながら、会場を後にしました。

(集合写真撮影…佐々木順児氏、その他の写真撮影…佐々木正氏)

東光苑でクリスマス会

十二月十六日、東光苑でクリスマス会が行われ、入苑者が保育園児のゆうぎなどを楽しみました。

永慶、みどり両園児たちのかわいらしいゆうぎに入苑者のみなさんは、目を細めていました。



▲保育園児による熱演



▲アトラクションでは民謡が披露、好評だった

東由利文化クラブ

虫歯
なんてない
も〜ん。

1歳6カ月児健診
()内は保護者 12/2

高橋みさとちゃん
宇戸坂(勝義さん)



遠藤凌くん
新処(賢志さん)



畠山莉奈ちゃん
下通(英吉さん)



佐々木友恵ちゃん
新町(明さん)



遠藤彩香ちゃん
宿(育英さん)



佐藤銀兵くん
下通(秀俊さん)



長谷山郁大くん
田代(冬樹さん)



小松沙緒里ちゃん
家ノ下(実さん)



佐藤雄大くん
津沢(隆さん)



◆東由利の文芸◆

くさめして糸逃したる針のメド 上里 小野石路子
室咲きや杉箸ぬくき湯治宿 蔵新田 小野 貞子
またひとり牛飼い減りし村深雪 久保 高橋 典三
戦友の計報また来て年の暮 湯出野 小松 徳蔵
七七忌切炬に揃ふうからの手 下小路 小松 メサ
真心の募金は重し吹雪中 小倉 遠藤トミ子
捨て猫の尾にもしたたか野分かな 秋田市 嵯峨 義之
寒風に声のきほへる浜羅場 横小路 宮野源二郎
懐に嬰兒の香の冬温し 中通 小松順之助
しばらくは水塵青き沼の上 横小路 小松 文介

山国の光陰たのみ吊り干葉 舟打場 高橋民治郎
病院の寒暮二百の窓灯る 船木 太庭喜右衛門
絵馬堂のからからと鳴り神迎へ 横渡 高橋ヒデ子
あれこれと今年も暮るる仮住い 湯出野 佐藤 正義
雪ほたる子の遺したる紺紺 家ノ下 小松 正昭
鳥移るねぐら何処ぞこの深雪 高戸屋 小松 敏雄
初めてとなげきつ市民雪を掻く 時雨山 渡辺 清一
日めくりの柱にやせて師走かな 蔵新田 小笠原亮子
清貧という大根と青菜吊り 時雨山 吉川 葉子
平凡は息災のこと日記果つ 五海保 嶽石 レイ
風師走新聞配りの白軍手 山崎 小松 良子
退院の窓に日の差す小春かな 蔵新田 小笠原トミ

献血ありがとう

秋田ルビコン前

▼四〇〇〇〇

小松正義(新町)、吉田幸実(十文字町)、柴正徳(本荘市)

▼二〇〇〇〇

大日向睦子(宮ノ前)、杉野文子(横渡)、嶽石愛子(八日町)、遠藤真理子(新町)、阿部さゆり(大内町)、遠藤羊子(小倉)、佐藤恵理子(本荘市)、原田直美(羽後町)、佐々木幸子(大琴)、畑山千江子

12月4日
実施

(館合新田)、長谷山広美(八日町)
櫛野寿保子(下小路)

下郷分校前

▼二〇〇〇〇

小松史(須郷田)、畠山奈美子(寺田)、阿部一夫(羽後町)、伊藤裕美子(新町)、遠藤和美(小倉)、半田あきほ(本荘市)、渡辺正明(田代)、小野昭枝(下通)、畠山良子(寺田)、遠藤良恵(新町)、遠藤貴恵(新処)、畠山明子(下通)、畠山洋幸(石高)、遠藤洋昌(桂台)

役場前

▼四〇〇〇〇

遠藤晃(野田)、小松信記(蔵)、小松貢治(跡見坂)、遠藤哲也(館西)、遠藤克幸(蔵新田)、高沢稔(黒淵)、工藤恵(中ノ沢)、小松聖明(須郷田)、小松正二(下小路)、佐藤公男(智者鶴)、小松和美(山崎)、横山一郎(智者鶴)、小松雄一(松柴)

▼二〇〇〇〇

小野信子(上里)、嶽石文弥(五海保)、佐藤史子(黒淵)、高橋美和子(杉森)、阿部弘章(蔵)

アイドルをさがせ!



石綿莉沙ちゃん(1歳)
お父さん:工さん
お母さん:裕子さん
【横渡】

お話し:裕子さん

好奇心旺盛で、何にでも興味を示す子どもです。そのせいか人見知りもしませんね。ただ少し気が強いところがあるかな?。名前は私と父親がつけました。直観的に考えたので特に由来はありません。顔はおばあちゃん似というか、父親似といわれることが多いです。

好きなものは、お風呂。なんといっても父親と入るのが好きで、いつも長湯です。食べ物の好き嫌いはないです。動物も嫌いではないようです。

最近、テレビで流れる音楽にあわせて踊りますね。とても楽しそうです。

元気でやさしく、素直な子どもに育ってほしいと思います。

私のアイデア貯金箱

貯蓄に対する関心と、児童の造形的な創造力を伸ばそうと郵政省で毎年行っている「私のアイデア貯金箱コンクール」。

二十四回を数える今回本荘由利郡内十九校から二百二十点の応募（東北では八万一千四百三十四点）があり、その中から高瀬小学校三年遠藤麻子さんの貯金箱が郵便局長賞を受けました。



▲郵便局長賞の遠藤麻子さんと貯金箱

新生徒会長として

下郷分校二年生 鈴木誠也くん



十二月一日に教頭先生から任命証をいただいて、晴れて生徒会長になりました。生徒会長という大きな仕事を選んだからには、精一杯頑張ると同時に、生徒の代表だという責任感だけはしっかり持っていきたいと思っています。

会長になろうと思ったのは、高校生活を普通に過ごしてはもったいない、自分のために何かやってみたいという強い気持ちがあったからでした。

はつきりいって、生徒会という世界は自分には全く関係ないと思っていました。でも何かやろうと思った時に、どうせやるならこんなやり方だと思ひ、あえて大変な事に挑戦しようと思ひました。

学校行事の中では、特に運動会や文化祭に力を入れたいと思ひます。運動会では、恒例の競技だけでなく、みんなが楽しめる趣向を凝らしたようなものを、文化祭では、生徒のみんなに来てくださったお客さんが楽しかったなと思って帰るようなことをしたいと思ひています。

他の行事についても、生徒会一丸となって取り組み、活気あふれる学校にしたいと思ひています。

ナイタースキー講習

由利本荘スキー指導員協議会では、ナイタースキー講習会を開催します。

日時…二月九日、十日午後七時

会場…鳥海高原矢島スキー場

対象…一般男女

講師…全日本スキー連盟公認指導員

参加料…無料（但し保険料千円）

詳細については石綿喜代隆（六九—三二三四）まで問い合わせを。

おむかしおむかし

十九

間抜けお手伝い

むかしお正月になると、どの家でも神主さん（かんぢさん）を呼んで、お祝いをしていた。新しい年の幸せを願う習わしがありました。

むかしむかし、あるところにぐずという息子がいました。

ぐずは母親から「ぐずや、今日は神主さんにおはらいしていただく日だから、ご飯を炊いてくれ」とお手伝いを言いつけられました。ぐずは新米（しんまい）を水（みづ）でといでいろりに鍋（なべ）をかけたききはじめました。

しばらくすると、鍋の中の水が煮え、白い泡とともにグズグズと音がし始めてきました。するとぐずは、鍋に名前を呼ばれたのかと思ひ「はい」と答えました。グズグズ、グズグズ鍋の中で音がするたびに「はい。はい。はい。」と返事をするのでしたが、そのあとは何も言わないので、怒ったぐずは、鍋のふたを取り、いろりの灰を入れたら、鍋はジュウーと、黙りました。母親は、灰だらけの鍋を見て「困ったぐずだ。何をさせても万（まん）足（そく）なことが出来なくて…」うらめしうにぐずの顔を見つめているのでした。

「今日は、朝から寒く大変な日だ。ご祈祷（きとう）をあげる前にひと風呂（ふろ）あびさせてもらい、あったまりたいのだから…」母親は早速（さつそく）、風呂（ふろ）をわかすようにぐずに言いつけました。

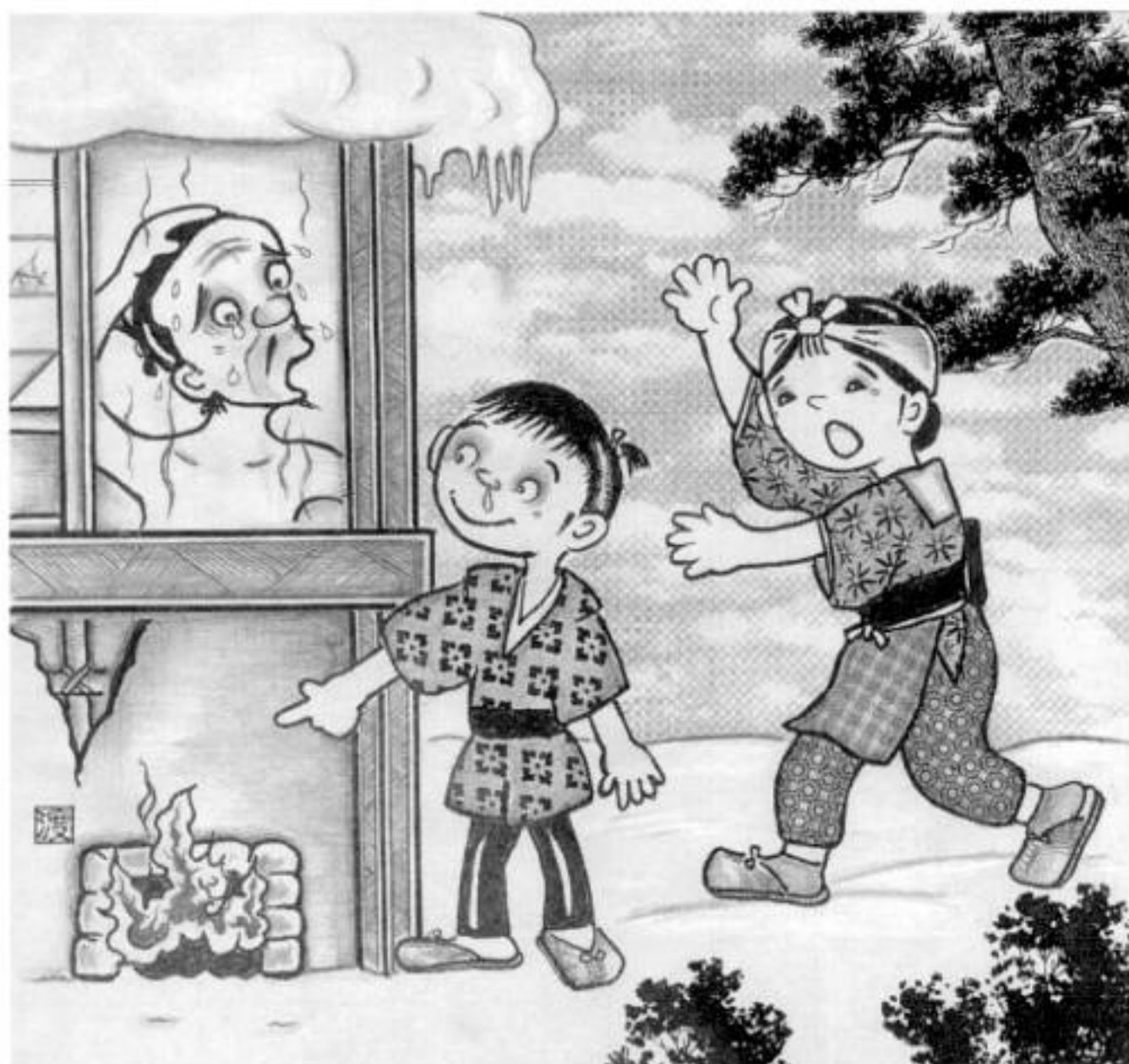
ぐずは、風呂（ふろ）をわかすにはどうしたらよいのかと、思案（しあん）していると神主（かんぢ）さんはもう風呂（ふろ）に入っている様子です。

子（こ）です。

「まだ水ではないか。これでは風邪（かぜ）をひいてしまう。何かどんどん燃（も）やしてくれえ」と風呂（ふろ）場の窓（まど）から顔を出してどなっているのです。

ぐずは「何を燃（も）やせばよいのですか」と聞き返すと、神主（かんぢ）さんは「何んでもよい。その辺にあるものを焚（も）いてくれ。しばらくすると、神主（かんぢ）さんはほっとした声で「ああ…いい湯（ゆ）加減（かへん）ですっかりからだがあつたまった。ところでいったい何を燃（も）やしたのじゃ。」「はい、その辺の物を何んでも焚（も）いてくれといったので、神主（かんぢ）さんの装束（さうそく）や着（き）物を燃（も）やしました」とぐずはにっこり笑って答えるのでした。

（老方・阿部ナツオさんの語りより採話／文と絵 石渡力造氏）





郷土の野草

東由利

NO.167

ミズヒキ
(タデ科)

文・写真 小松忠正氏

日本全土、中国、朝鮮などの山裾、林叢地に多く見られる多年草で、茎は直立してまばらに分岐し、五十センチから八十センチほど

になり、葉は互生し、短い柄があり広楕形または広卵形で、葉頭はとがり、葉底は鈍形になり、ときに葉面に黒い斑紋が出る

ことがあり、八月から九月に細い花穂を出して、二ミリの表面は赤色、裏面はやや白っぽいそりかえった花をつけます。和名は花の色が上が赤く、下が白く見えるので祝いに使った紅白の水引きにたとえたものといひます。

1月▶データ東由利

<11/1~30>

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,541人 (△4)
- 女.....2,692人 (△6)
- 計.....5,233人 (△10)
- 世帯数.....1,392戸 (△2)

() は1月からの累計

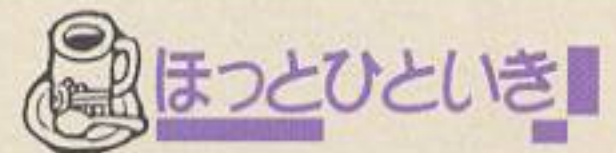
- ・出生3人(25)・死亡5人(52)
- ・転入0人(60)・転出8人(147)

- 火災出動.....1件(1)
- 救急出動.....7件(131)
- 交通事故.....3件(7)
 - ・死亡.....0人(0)
 - ・傷者.....1人(8)
- 飲酒運転.....1人(3)
- 酒気帯び.....1人(2)

1月の行事予定

- 1 元日
- 4 御用始め
- 4 新春懇談会
- 4 新春町政座談会・法内分館
(克雪センター/〜1:30)
- 5 新春町政座談会・住吉分館
(八塩館/〜9:30)
- 5 新春町政座談会・蔵分館
(大蔵館/〜1:30)
- 6 消防出初式
- 7 新春町政座談会・玉米分館
(玉米会館/〜9:30)
- 7 新春町政座談会・老方分館
(老方館/〜1:30)
- 8 新春町政座談会・袖山分館
(袖山館/〜9:30)
- 7 新春町政座談会・宿分館
(高瀬館/〜1:30)

15 成人の日



新年あけましておめでとうございます。昨年はみなさんにとってどんな年だったでしょうか？今年にはうさぎ年。うさぎのように軽やかな飛躍の年にしたいですね。さて、昨年末行われた高橋宏幸賞のこと。高橋先生は現在現実にあった犬の長い旅をテーマに、新しい物語を構想中なのですが、やはり作家という職業の人は一つの事実に対する着眼点が違うと改めて思いました。そしてそういう意識でいると情報も自然に集まるのだなと実感したのでした。(さ)

戸籍の窓口

(11月21日)〜(12月20日)届出

●お誕生おめでとう

11/12 佐々木 雪乃さん(明子) 新町
11/21 野 凌 汰さん(康成) 下小路

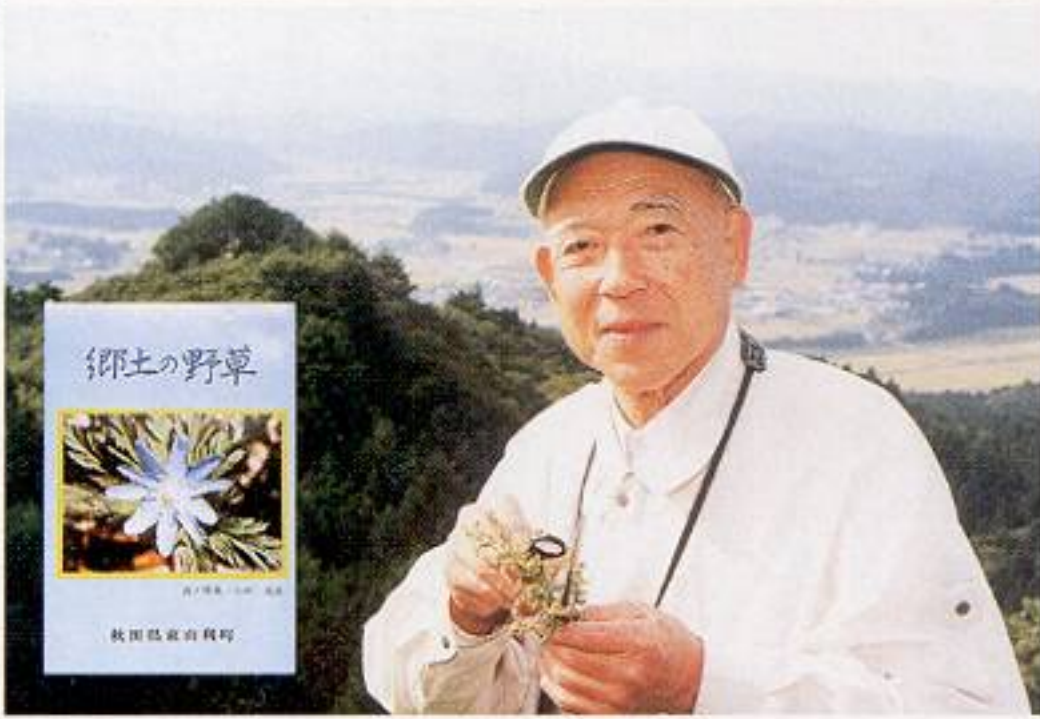
●ご結婚おめでとう

12/8 遠藤 貴浩さん(祝沢) 祝沢
12/8 渡邊 淳子さん(本莊市) 本莊市

●ごめい福をお祈りいたします

11/16 植田 フヨさん(博妻・岩館) 博妻・岩館
12/1 小松キヨミさん(昌英・祖母・中通) 昌英・祖母・中通
12/1 小松アヤ子さん(徳一郎・妻・下通) 徳一郎・妻・下通
12/14 遠藤 正さん(テルヨ・夫・小倉) テルヨ・夫・小倉
12/16 板垣トシミさん(悟・母・船木) 悟・母・船木

「郷土の野草」発刊



▲小松忠正氏と「郷土の野草」

広報ひがしゆりに毎月掲載している小松忠正氏の「東由利郷土の野草」をこのほど一冊の本にまとめた。本は小松氏撮影のカラー写真と解説などを中心にした構成になっている。連載開始から本号まで百六十七種の野草が紹介されたが、今回の本にまとめられた野草は未紹介を含め、全部で百六十種。「野草はその名のごとく山野や野が一番安住の地である。山野草を掘り採る人がいるが、それは悲しいことである。採るのではなく撮ってほしい」という思いをこの本に託したとのこと。なお、この「郷土の野草」は、ぷれっそ内「ジムワン」、黄桜温泉「湯楽里」などで一、五〇〇円で販売しています。

地元産そば試食会お知らせ

地元産のそば粉を利用した手打ちの生ソバ(かけソバ)を試食してみませんか。平成十一年一月十八日(月)午前十一時〜午後二時 黄桜温泉お食事処「やしお」▼申し込みは一月八日正午まで産業課(六六九-二二一六)にお申し込みください。(限定百人、会費二百円)